



万木 豊 議員

ICT化について

ペーパーレス化を進めるべきと考えるが？

システムの有効活用を図り、業務の効率化を進めます。

答

問 省資源や業務の効率化、行政改革推進の観点から、まずはペーパーレス化を進めるべきと考えるが？

答 本市の内部情報化の仕組みは、合併時よりグループウェアシステムを導入し、本庁をはじめ市内各公共施設や小中学校など68施設を光回線のネットワークで結んでおり、全ての職員が情報を共有できるシステムとなっております。中でも、会議室や公用車の予約管理・職員のスケジュール管理・電子会議室や回覧板機能などのシステムを運用することにより、ペーパーレス化や業務の効率化を図っています。

答 政策部長

今後もし引き続きこのシステムの有効活用を図り、情報の共有と、省資源化を進めてまいります。

問 日々の決裁や会議資料などの電子化は検討されているか。

答 政策部長

現在、文書管理システムを中心に検討しています。公文書は全て紙ベースで編冊し保存していますが、今後は電子化したデータで保存し、大幅に紙や印刷コストを削減したいと考えています。電子決裁は、職員の印鑑による決裁の電子化ですが、様々な課題があり、先行事例などを研究します。

問 職員の端末として将来的にタブレットは考えているか。

答 政策部長

ペーパーレス化や会議システム、保健師の訪問記録などの効果は十分認識しています。現状ではセキュリティ対策を重視しており、職員の端末パソコンをタブレットに変えることは課題があると考えています。

問 「インスタグラム」「フェイスブック」などの発信力はどのように分析しているか。

答 政策部長

今年の3月から始め、好評をいただいております。登録者も徐々に増えています。今は観光情報とイベント情報が主ですが、万が一の災害時にも有効に活用できると考えています。



その他の質問

●小中学校におけるエアコンの設置について